

第13回

佐々町・小佐々町合併協議会

会議録

平成16年1月15日

於 小佐々町役場

会議室

嶋崎事務局長

皆様、こんにちは。

本日は、大変ご多忙のところ御出席を賜りましてありがとうございました。

ただいまから、第 13 回佐々町・小佐々町合併協議会を開催させていただきます。

まず、本協議会の会長のご挨拶をお願いいたします。

久保田会長

皆様あらためまして新年明けましておめでとうございます。

ご家族お揃いで、健やかな新年をお迎えになられたことと思います。去年は皆様のご協力、ご理解によりまして、本協議会の合併協議につきましても、着実に進展をすることが出来ました。まことにありがとうございました。本年は、まだ、未確認の協定項目がございますので、その点の確認をいたしました後、3 月の後半か、4 月の初めには、合併協定書の調印、それからその後に、両町の議会での議決、それが終わりましたら県知事に申請するという運びになります。それから又合併協議会の中で、合併までに調整するという項目がたくさんございました。その点につきましても、現在あの各専門部会の方で協議、調整を行っておりますので、ご報告をしておきたいというふうに思います。

それから、もうご承知かと思いますが 1 月 9 日の日に、両町の町長、議長、それから県北振興局の村上局長さんにご同席をいただきまして、金子知事とお会いいたしまして、佐々町、小佐々町の合併につきましてのご支援の要望を行ってきました。その席で気持ちよく支援するということで 1 月 9 日付けで、合併の重点支援地域という指定をいただいておりますので、ご報告をいたしたいと思います。

それから、本日欠席が、久保委員が欠席をいたしております。以上であいさつを終わります。

さっそく協議に入ります。まず初めに継続でございますが、協議第 17 号議会議員の定数及び任期の取扱いに関することにつきまして、議題といたします。事務局から、又新たに資料を出しておりますので資料の説明をして、皆様からご意見を賜りたいというふうに考えておりますので、よろしく願い申します。

嶋崎事務局長

それでは、議案資料の 1 ページをお開きいただきたいと思います。

議会議員の定数及び任期の取扱いに関すること、と前回からの継続の協議事項でございます。議会議員の定数は、20 人とする。ただし、合併後の設置選挙による定数は、24 人とする。という方

針です。なお、この議会議員の定数の定数につきましては、判断する材料また合併に伴う議員の職務の増加などについて判断する資料が少ないのではと、委員の皆様方からのご意見等がございましたので、若干資料等を用意いたしております。

2 ページをお開きいただきたいと思います。2 ページの資料でございますけれども、現在、全国で合併後の人口が、1 万人から 3 万人の規模で、議会議員の定数それから任期に関する協議事項が行われているところというところで、一応ホームページで検索して、まとめた資料でございます。一部、合併が成されているところも含まれておりますけれども、この一覧表でございますが、合併後の人口が 2 万人以上のところ、それから 2 万人未満のところと、まず区分けをいたしております。そして、設置選挙もしくは、在任特例の適用がということで、区分をいたしておりますが、まず上段の方、この資料の上半分ですが、合併後の人口が 2 万人以上の法定協議会を見ますと、全部で 20 団体ここにあります、そのうち設置選挙を実地するという団体が、5 団体、残り 15 団体が在任特例の適用というふうになっております。

同じように下半分ですけれども、合併の人口が 2 万人未満の団体ですけれども、全部で 22 団体の内 14 団体が在任特例を適用と、7 団体が設置選挙を、残り一番下の団体が協議中ということになっております。

ちなみに本地域の合併後の人口は、平成 12 年の国勢調査では 2 万 600 人あまりということですが、この本地域とほぼ人口に近い、上段の方の鳥取県の東伯西部合併協議会、ここ合併後の人口が 2 万 442 人となっておりますけれども、ここも在任特例を適用すると、その後の条例定数は 22 名、また上段の一番下ですけれども、内子町、五十崎町、小田町合併協議会、これ愛媛県ですけれども、合併後の人口が 2 万 782 人ここでも在任特例を適用し、条例定数は 18 名というような状況です。

また、この一覧表で、一番上段の広島県山県東部合併協議会というところがありますが、ちょうど本地域と同様の提案をここで行っており、条例定数は 20 名、ただし、設置選挙時の定数を 26 名というところで提案がなされておるところです。合併時の人口は、21,929 人ですけれども、この協議会では最終的に協議会の全員による無記名投票で原案どおり確認がされ、設置選挙を実施する、ただし設置選挙時の定数が 26 名、条例定数は 20 名というところで確認がなされております。

また、資料の 3 ページ。次のページですけれども、合併時に想定される議員の職務の増加項目というところで、一般的に想定される項目も含めて、参考程度にご覧いただきたいと思いますけれども、合併するとなりますと、先ず面積・人口等が拡大されます。合併することによって住民の声が届きにくくなるのではと、これはアンケートでも不安として上がっておりましたけれども、その分の払

拭、懸念の払拭に業務が増加するのではないのかと、また、同時に合併相手の市町村の実情、現状の把握も必要になってくるだろうということです。

それから、予算決算関係ですけれども、当然 16 年度、年度途中の合併となりますので旧町、平成 16 年度はそれぞれの町で、打ち切り決算ということになります。そして合併直後はすぐに新町の暫定予算を編成し、合併後の新しい予算編成になりますけれども、それらの決算なり、予算の審議が新たに発生してくるのではないかとということです。

また、合併時に専決した多数の条例・例規の承認とありますけれども、合併に伴いまして、新たにですね条例等の整備も必要になってくるということです。以下新しい町になりましてもその実施計画、総合計画等の業務も新たに発生してくると。以下、ここに記載しておりますような業務が増加するのではないかと、合併に伴いまして、増加するのではないかとということで、まとめておる資料でございます。以上、簡単ですけれども資料のご説明を終わります。

久保田会長

ただいま説明が終わりましたので、ただいまからご質疑、ご意見等いただきたいと思います。

何か、ございませんでしょうか。

この件につきましてはですね、本日確認をしたいというふうに前回申しあげましたように、本日確認をする予定でございます。そういうことで、ご意見ございましたらお受けしたいと思います。

はい、筒井委員。

筒井委員

確認の方法はどういうことで。

久保田会長

それは皆様に、お諮りしてやろうと思っております。

はい、岡本委員。

岡本委員

座ったまま失礼します。岡本です。継続審議の提案を見て見ましたときに、前回同様、前々回もそうですけれども、ひとつも変わっていないということでございまして、私も多分にがっかりしたような感じもいたしております。前段の定数について 20 人というのは、おおよそ私も、了解したような感じを前回は申しあげましたとおり、考えております。

合併後の設置選挙について、定数は24人とするということでございまして、これが我々、執行部の呼びかたによりますと、一般の代表ということでございまして、我々住民代表としても、ある程度の意向は聴いていただきたかったなあという感じもいたします。

これを申しあげますと、いろいろ差し障りが有りますけれども、執行部のお考えとして、はなはだ議会の方を重視した考えを持っておられるような、我々としては考えるところであります。それで今日、採決されるということでございますけれども、どのような方法で採決されるか解りませんけれども、私としては、これは、5回も、6回も審議した結果では、私はあまり効果が上がらなかったなあという感じもいたします。

我々、住民代表とおっしゃいますけれども、議員様の皆様方も住民代表のでございます。それと同時に議会の代表でも有られると思いますけれども、それについても私は、非常にがっかりしたような感じを持っております。今後、採決されるにあたっては、それに私も従いはいたしますけれども、そういうふうな感じを私は、非常に落胆したような感じを持っております。以上です、終わります。

久保田会長

はい、ありがとうございました。

私、20と、24を提案しておりますけれども、私、議員さんに配慮して、おべっか使こうて、提案したつもりは、毛頭ございません。私達なりに調査検討いたしまして、最終的に大瀬町長と協議いたしまして提案をした訳でございますから、その点だけはですね、私、議員さんにおべっか使うつもりは毛頭ございません。これで一番ベターだということで提案させて頂きましたので、その点だけはお理解いただきたいというふうに思います。

はい、筒井委員。

筒井委員

佐々の筒井です。会長さんの今の話を聞いて、私も私の意見を言わしていただきたいと思えます。まず当初、我々に定数については、一般の委員さんはどういう考えですかと、こう質問があった時、一般の委員さんは全員意見を述べられたと思います。それが今、岡本さんが言われたように、それが反映されていないということについては、私は合併の主旨に、行政経費を削減するという、大きなですね、ひとつの目的が達成されてない。それがこの提案で変更がないということについては、非常に残念だこう思っております。以上でございます。

久保田会長

他にございませんか。

はい、大瀬委員。

大瀬副会長

私は、間違っているかも知りませんが、ちょっとご意見を申しあげたいと思います。

岡本委員さんおっしゃったように、私達は執行部ではないというふうに思います。同じ委員であると、言うことだと思います。

だから私は継続になったということは、これを替えてくることは、私は出来ないと思っておるんです。間違っているか、わからんですよ。だから委員さんが、対案を出されたら逆によかったんじゃないかというふうに私は思っているんですよ。何人にしたいとか。そういう事で多数決になるのか、わかりませんが、そういうことしないと、替えて持ってくるということは、賛成した委員さんもういっしょるわけですので、結果的に継続になったんじゃないかなというふうに私は思っておるんです。だからこのまま出したことについては、ご理解をいただかなければ、どうしょうもないものかなというふうに思っておるんです。

こちら辺が間違っているかどうか、私もよくわからんですが、お互いに委員として選ばれて、代表者を久保田会長に選んだだけ。だけとは会長さんに大変失礼ですけども、そういうことで町長であるために私が副会長をしているだけでございまして、私どもはこの提案を続けていくと、そういう事ではなかろうかな、と思って、だったら筒井さんは、1回おっしゃいましたですね、特例の24人はいらないと。例えばそういう事で、決を採ってやるかとか、そういう具体的な案になった方がもう良くはないかな、というふうに思うわけですけども、いかがですかね。

久保田会長

はい、どうぞ中村委員。

中村委員

佐々の中村です。いろいろこれにつきまは、何回も同じ会合でいろいろ意見を言い合ってみましたけれど、まず在任特例が適用されず設置選挙ということで、議員の在任期間が2年はなくなる訳でございます。

それから一応住民のアンケートの資料から見ますと、資料の15ページに有りますが、期待をしておられる中で、1番目は町長や議員数の減少により行政経費の節減と、その次に少子高齢化社

会に対応した行政のサービスの充実と、いうことを期待しておられます。それから不安材料としましては、18ページに有りますが、区域が広くなり行き届いた行政サービスが受けられなくなると。それから中心部だけがよくなり、周辺部は取り残されると、こういうふうな意見が1番2番に出ております。

住民の声が届きにくくなる、これは人口拡大、地域拡大によりまして、こういうことが出てくると、それから合併相手の町の実情や現状の把握ができにくくなると、こういう面からいろんな面から考えてみますと、また、先ほど出ました全国的な町の議員定数の状況から見まして、非常に町の拡大とかいろんな問題から定数の20名は、私は適切ではないかと、具体的に申しまして考えております。

それから先ほどいいました諸々の事情から、第1期だけの設定数は24が適当か、或いは、22ぐらいでよくはないかという考えもございましたが、一応私は必要と考えております。以上でございます。

久保田会長

はい、ありがとうございました。他に、ご意見ございませんでしょうか。

はい。田中委員。

田中委員

小佐々の田中です。本当にこの問題については、何回となく協議した結果ですけれども、あの考えてみますと他町は、相当の途中、揉め合ってるみたいですので、町長さんに肩持つと、思われればしかたないとしても、私の考えとしましては、20と24で決定させていただいた方が、すんなりいくのではないかなあと考えております。以上です。

久保田会長

はい。他にご意見ございませんでしょうか。

はい。岡本委員。

岡本委員

先ほど、24にするか、22にするかという意見もありましたけれども、ここであの22どちらかに歩み寄るというふうな、提案をすればそういうふうな事も有り得るわけでしょうか。

久保田会長

ただいま、提案してますのはですね、議会議員の定数は20人とする、ただし合併後の設置選挙による定数は24人とする。ですね。これを変更するつもりはございません。これをお願いいたします。

岡本委員

はい、そしたら私、申し上げることはございません。

久保田会長

他に、ご意見ございませんでしょうか。

はい、山下委員

山下委員

小佐々の山下です。いろいろご意見が出ております。ほとんど出尽くしたんじゃないかなと思うんですけども、私は前回も申しあげましたとおり、小佐々のこの地域としての、いわゆる佐々と比較しての条件として、小佐々の場合は、是非、議員さんを原案どおりにひとつお願いしたいと。

いずれにしても小佐々は、だんだん寂れていくんじゃないかなという、非常な危機感をもっております。どうかひとつ佐々の中心部に近づくような、行政をお願いしながら、また、議会の皆さん方も目いっぱい気張って頂いて、いわゆる車の両輪のごとく、どうかひとつ合併の暁には、是非、基盤の整備、そして両町の発展を遂げることを目標をお願いをいたしたいと、こういう意味で原案どおり私は賛成をいたします。以上です。

久保田会長

はい、ありがとうございました。他に、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。だいたいご意見等も出尽くしたようでございますので、ここで、よろこびますかね。ただいまから確認をさせていただきたいと思いますが、よろこびますか。確認の方法は、いかがでしょうか。どういう形が、よろこびますかね。もし委員の皆様方から、いい案がありましたらそれを、

はい、山下委員

山下委員

いろいろ方法は、あると思うんですけども、私は、無記名でもって投票をして頂いたらいかがでござ

ざいましょうか。このまま、ストレートにいくのも方法でございましょうけれども、この場合、練りに練った作業でございますので、結論として、結果としてですね、ひとついい形で投票していただければ、
とこういうふうに思います。以上です。

久保田会長

ただいま、無記名投票ということが出たわけでございますが、いかがですか。委員の皆さん。

はい、岡本委員

岡本委員

はっきり解るように、挙手か、起立で結構と思います。

久保田会長

起立か、挙手かということということでございますが。

はい、山本委員。

山本委員

私は、無記名投票の方をお願いしたいと思います。

久保田会長

はい、筒井委員。

筒井委員

はい、我々は、責任ある立場ですのではっきりした表示をですね、やっぱり町民の皆様かれこれ示さなければならないと思いますので、起立採決のほうでしていただければと思います。

久保田会長

はい、ただいま、2対2といたしますか、でておりますが、いかがでしょうかね。無記名と、起立採決ということで今2点でておりますが、はい。

田中委員

無記名。

久保田会長

いかがですか。

岡本委員

あのう、私達ははっきり言っておるんですから、はっきり示した方がいいと思うんです。

久保田会長

はい、今あの起立採決をということで、いかがですか、小佐々の委員さんたち。

はい、前田委員。

前田委員

無記名投票でも、採決でもあまりこの協議ということに対して、白黒をはっきりつけてということに成ると、後々しこりが残ったり、（「残らんさ」の声あり）それは残らんごと出来ればいいですけど、協議事項は違いますけれども、各合併協の中で、やっぱり最終段階でいろいろたごたなりよるのは、やはり投票したり採決したりしたことによって、やはり結構混乱を招いてる状況が、結構見受けられますので、出来れば不本意ながらも、全会一致という形をとった方が、私はいいんじゃないかと思っております。

久保田会長

どうでしょうか、起立採決か、無記名か、投票しましょうか。

起立採決でいい方は手を挙げてください。

（採 決）

はい、起立採決、多数で、ただいまから、起立によりましてですね、判断をいたします。

ただいまから、お諮りいたします。

議会議員の定数及び任期の取扱いに関することにつきましては、議会議員の定数は 20 人とする、ただし、合併後の設置選挙による定数は、24 人とする。つぎに、議会議員の任期については、市町村の合併の特例に関する法律第 6 条、これは定数特例でございます、及び第 7 条の特例は適用せず、設置選挙を実地する。この件につきまして賛成の方はご起立をお願いいたします。

（採 決）

はい、ありがとうございました。

賛成多数ですね、ただ今言いました、議会議員の定数は 20 人とする、ただし、合併後の設置

選挙による定数は、24 人とする。それから議会議員の任期については、市町村の合併の特例に関する法律第 6 条及び第 7 条の特例は適用せず、設置選挙を実地する。ということで決定をさせて頂きます。どうもありがとうございました。

次に、協議第 45 号新町建設計画の作成の関すること（その 4）を議題といたします。

事務局より説明をいたします。

嶋崎事務局長

協議第 45 号新町建設計画の作成の関すること（その 4）と、いたしておりますが、新町建設計画の素案についての提出でございます。この素案につきましては、前々回の協議会でその概要を説明いたしておりますけれども、その後、これまでの期間の間に、県本庁の各担当部署との、協議を行っております。その協議の結果、助言なり修正意見というのを、県の方から受けております。それに基づきまして、一部文章の表現とか、統計数値の訂正とか、いう修正を行っておりますが、この修正につきましての一覧表にとりまとめております資料 が、修正箇所の一覧でございます。

この修正一覧でございますけれども、いずれも建設計画の基本的な方針とか、内容、構成まで修正が及ぶものではございません。適切な文章表現とか、国や県の方針に即したものであるか、といったところの観点の内容的な修正となっております。

この資料 に修正箇所一覧といたしておりますけれども、該当のページ、それから該当の行、元々の原文、そして訂正後の修正文、その修正の理由、というところで各個別に載せておりますけれども、具体的な説明は、後もってご覧頂きたいと思いますので、説明は省略させていただきます。

なお、この修正に基づきまして、訂正後の建設計画の素案というのが、別途綴りに新町建設計画の素案と 16 年 1 月 15 日とかいておりますのが、素案でございます。今申しましたように、内容の大まかな修正とまでは、至っておりませんのでこれも後もってご確認を頂きたいと思います。

それからこの建設計画の概要につきましては、先にも申しておりますが、今月の 27 日から 30 日までの 4 日間、佐々町、小佐々町両町でそれぞれ 2 回ずつ、住民説明会を実施いたす予定にいたしております。その折の説明会資料としては、資料の ということ、本日お配りしておりますけれども、この建設計画素案を概要版ということで、10 ページ程度に集約して、まとめた資料を持って説明を行いたいと考えております。それからその時には、この合併協議会でこれまで協議し、確認をいただきました協定項目の協議内容についても、主な点、主な内容の方針を合わせて説明をしたいと思っております。

当然その折には、協議会の委員さん方にも、ご出席をお願いしたいと考えておりますので、よろ

しくお願いしたいと思います。

以上、中身具体的なところまでは、本日ご説明いたしませんけれども、建設計画素案ということでの提案をよろしくお願いしたいと思います。以上です。

久保田会長

はい、ありがとうございました。ただいま説明が終わりましたので、ただいまからご質問等お受けいたします。

はい、川野委員。

川野委員

今の、建設計画の素案の修正について、ちょっとご質問しています。あの各項目にわたって調整がなされているようですが、この財政問題についての話し合いというのは合ったんでしょうか。

久保田会長

はい、事務局からいいですか。

嶋崎事務局長

財政につきましても合併後平成 17 年から 26 年まで 10 年間の計画を立てまして、素案の方にも、49 ページそれから 50、52 ページにかけていたしております。

当然この中身につきましても、県本庁との確認協議を行っております。特に修正意見等はまいっておりませんけれども、まず財政計画につきましては、歳入歳出いずれも前提条件として平成 14 年度の実績数値を元に、人口の伸びに即して税収を動かすとか作業等とかを行った上での、シミュレーションというところです。それから、地方債等につきましても、現在これまで発行しております、通常債、それから合併特例債というのがありますけれども、出来るだけ発行を抑制すると、ちなみに 7 割程度というところの、シミュレーションでございます。

なかなか 10 年間の財政計画を立てる上での、基本的考え方を、ここに前提として示していますけれども、なかなか推測するのも難しい面もございますけれども、とりあえず前回までにご提案した素案どおりの数値をここに挙げておるところです。以上です。

久保田会長

他に、ございませんか。はい、中村委員

中村委員

これは、表現のやり方と思いますが、この資料の4ページと26ページに、4ページの方、2町の将来像と基本目標ということで、小佐々町の基本理念の中に、21世紀への門戸を開く、まちの創造まちの将来像 ひとと自然にやさしい8,000人のまちと、この8,000人のまちとは、どういう意味か理解に苦しみますので、解りにくかったので、ちょっとお尋ねします。

久保田会長

はい、私の方から、ご説明申し上げます。現在、小佐々町は、住民基本台帳で7,400ぐらいだったと思いますかね。出来れば8,000人ぐらいに増やしたいと、そういう町にしていきたいということで、8年ぐらい前からですかね、そういう事でですね、いっております。8,000人というのはなかなか難しいんですけども、そういう人口が増えるようにやっていきたい、そういう中身ですね。

中村委員

2町の新町になった時の将来像というのは、20,000人の町、これを25,000人の町とか、というのはほぼ見当がつかますけど、小佐々町だけの考え方じゃなくて、新町になれば、やはり2町合併したところの考え方じゃないかなあと、私は考えたもんですからお尋ねしとるわけです。

久保田会長

はい、2町であればこれは8,000人じゃございませんで、最初25,000人で、推計あれがですね。そういう町に、成ろうかと思えます。これは小佐々町区域のですね、小委員会の中でもその当たり審議されたんじゃないかなろうかと、

中村委員

地域だけの考え方ですね。

久保田会長

これはですね、小佐々町現在の、人を増やしたいということで、そういう事になっております。
はい。

嶋崎事務局長

すいません、補足という訳ではございませんけれども、ここにですね。4 ページに記載しておりますのは、現在のですね、佐々町における基本構想に基づく将来像、現在の小佐々町の基本計画に基づく将来像、これらの計画目標を踏まえて、今回の建設計画を作るという前提にしておるものでですね。

ちなみに2町合併後の人口はですね推計で29 ページですけども、今現在、平成12年国調では、20,600人。もうすでに、21,000人くらいですかね。これを、23,500人というところでの、人口の見通しを立てておるといふところですね。あくまでも、先ほどの8,000人というのは、今現在の総合計画これを踏まえて、新しい計画作りに反映させるという、作り方ですので現状という考え方をお願いしたいと思います。

大瀬副会長

小佐々町は、8,000人、うちは、14,500人と今設定しておるんですよ。うちはそれが書いてないだけでございまして、小佐々にはそのまちづくりが書いてあるんで8,000人、うちは目標を14,500人と、元々しておりました。それを合算して将来、A町とになったときには、23,500と設定しておるといふふうに読むということでございますので、現状を書いてある、こっちは将来を書いてある、というふうにお考え頂ければいいと思います。

久保田会長

他に、ございませんでしょうか。素案については、よございますかね。この後ですね県知事と協議が終わった後にですね、最終成案といいますか、中身的に変わりませんが、それを提案して決定するということになります。この素案につきましてはよございますかね。本日確認ということによございますか。いかがですか。

最終的にはですね、成案を出します。2月ですか。

はい、益田委員。

益田委員

今、会長さんがおっしゃっているように、後、具体的なものについては、これから枝葉が付いてくるだろうというふうに思っておりますけれども、建設計画について素案であってもですね、もう少しいろいろ審議したい面もございますので、継続審議でひとつお願いしたいというふうに思います。

久保田会長

ちょっと、事務局から説明をします。

嶋崎事務局長

あくまでも今回、確認をしていただきたいのは、素案ということですから、成案の確認ではございませんので、それと今、県の担当部署と協議を終えておりますけれども、県知事との、事前協議、本協議、というところですね、若干の表現等の修正が発生することもございますので、それを受けて、最終的な成案という提案をですね、次回以降の協議会にしたいと思います。今回は、素案という確認をお願いできればと思います。

久保田会長

ここで、暫時と休憩いたします。

(休 憩)

久保田会長

ただいまから、再開をいたします。確認をする前にですね、ちょっとお話をさせていただきます。

この後に成案を出します。しかし、成案を出す前にですね、協議会を開催いたしまして各議会、勉強会いろいろあつてようございますし、各委員たちもそれぞれ勉強されているようでございまして、その中で修正する箇所が出てくればですね、その中で十分協議をして、その中に組み入れると。

それからもう1点が、住民説明会の中でですね、いろいろご意見が出るだろうと思うわけですね。そういう点もご意見も参考にしながらですね、成案を出す前の協議会の中でですね、議論することでご理解していただきまして、素案につきましては確認ということによございますでしょうかね。

(「異議なし」の声)

すみません。そういう事で確認をさせていただきます。

続きまして、新規協議事項でございます。協議第49号 新町の名称に関する事 (その3)につきましてを議題にいたします。

嶋崎事務局長

議案資料の 5 ページです。新町の名称に関すること (その 3)といたしておりますけれども、新町の名称については、新町名称選定小委員会から別紙のとおり報告があったのでそれに基づき提案する、というものでございます。新町の名称につきましては、昨年の 11 月に約 1 ヶ月間、一般公募を行いまして、2 町内外、県外から合わせて 812 件、410 種類の応募がっております。その応募によりまして、昨年、小委員会を開催して頂いて、その報告が上がっておりますので、今回提案をしておるところでございます。以上です。

久保田会長

続きまして、新町名称候補選定小委員会の深江委員長より報告をいただきたいと思います。

深江委員長

小佐々の深江でございます。昨年の 12 月 24 日に小委員会を開催しております。

審議する前に、委員長、副委員長を選任してから協議に入っております。12 ページの方に小委員会の委員の名簿を記載しています。私が委員長、佐々の副議長であります松野さんが副委員長ということで選任されまして、審議を行っております。

第一次審査、第二次審査という方法で行っております。

第一次審査は、各委員さんに 5 つの候補を挙げていただきまして、その中から、また選考することにしておりましたので、各委員さんに 5 つの候補を選んでいただき 24 の候補が出ております。

その中で呼び名が同じで漢字、ひらがな、が出ておりまして、それをどう取り扱うかで審議いたしました。その結果、読みが同じものは、一つの候補とみなし、17 候補に絞っております。

それから第二次審査に入りまして、各委員さんそれぞれ 3 候補を投票していただきまして、8 つの新町名を選出しております。

この中で得票の多かった順にそれぞれ 1 ずつしましたけれど、まず呼び名が一緒のは、どうするかということで、一つ「さざなみちょう」というのが出ております。漢字とひらがなが出ておりまして、応募総数を見ておりますと、ひらがなが 22 名、漢字が 1 名が 2 件有りまして、ひらがなの方にした方が妥当じゃないかということで、「さざなみちょう」は、ひらがなの「さざなみ町」にしております。

また、「おおさざちょう」は、漢字の「大佐々町」が 44 名に対しまして、漢字の「大きい」に、ひらがなの「さざ」町が 2 人と少なかったものですから、これも応募者の兼ね合いから、漢字の「大佐々町」

を選定しております。

「さざちょう」の場合は、漢字の「佐々町」が全作品の中で一番多い55名の方がいらっしゃいましたが、ひらがなの場合は2番目で44名でしたけども、どうしても小佐々の委員さんのほうから漢字の佐々町になった場合は、少し抵抗があるとのことで、正直に申しますと、吸収合併じゃないかなという意見がありまして、住民感情にちょっと良くはないんじゃないかということで、その辺が1番審議したところですが、最終的には、ひらがなの「さざ町」を選出しております。

あと、「西端町」、「清峰町」、「佐小町」というのが同数になりまして、この3つの内から2つを選出したんですけど、その中で「佐小町」の応募総数が3、西端町の応募総数が15、それから西端町の応募総数が14ということで、応募総数が多い「西端町」、「清峰町」をそれぞれ選出しております。

ここに書いております、7ページに書いております、新町名称候補作品一覧表の5つを小委員会としては決定し、委員会の報告として、会長のほうに提出しております。

作品の選定の理由はそれぞれ書いてあります。詳しくは、事務局からでも報告していただければ、幸いと思います。以上でございます。

久保田会長

はい、事務局お願いいたします。

嶋崎事務局長

ただいま、小委員会の委員長さんのほうから、最終的に5つの候補を選定していただいて報告頂いております。7ページにその理由をつけて5つの候補が上がっておりますので、朗読をしたいと思います。

まず、「大佐々町」、漢字の「大佐々町」ですけども、選定の理由といたしましては、両町に共通する「佐々」を残し、両町が一つになり、より大きくなって、飛躍し、発展することを願って。両町にまたがる雄大な山と海、県下一長い佐々川に栄える町として。ふさわしいのではないかとということです。それから佐々町と小佐々町が合併して大きくなるのだからそのまま「大」をつけた。あまり違和感がなく親しみやすい。というのが大佐々町の選定の理由です。

それからひらがなの「さざ町」ですけども、両町に共通し歴史がある「さざ」を残し、平仮名でやわらかく、親しみ感がある。漢字の「佐々」は読み間違いをされたり、説明がしにくい面があるが、平仮名にすると、すっきりとしている。生活に不可欠な県下最長流「佐々川」や両町名にちなんでいる。とこれが選定の理由です。

次にひらがなの「さざなみ町」です。さざなみ(漣、小波)は佐々川の清流(波紋)と最西端の海の波を表し、穏やかな町のイメージがある。両町に共通する「さざ」にちなんでいる。両町が一つの大きな町、舟となり、波にのって発展してゆくイメージがある。静かな入り江に寄せる波のイメージで、やさしい響き。ということです。

それから「西端町」、漢字ですけれども、小佐々町は本土最西端にあり、佐々町と恵みを一つにし、全国に発信できる。今後の町おこしのアピールにも利用でき、地理的にも分かりやすい。合併して新しい町が誕生する「生誕」と地理的「西端」をかけた名称ということです。

それから 5 つ目ですが、「清峰町」、清らかな川の流れと緑豊かな山なみのイメージで、景観に恵まれた住み良い町にふさわしいということです。佐々川の清流と冷水岳、両町のシンボリックなものを冠した名称。地域内にある清峰高校と同名であり、教育と行政が一体となった町づくりを目指してほしいとの願いを込めて。ということで、一般の公募の選定の理由並びに各委員さん方の理由を踏まえてまとめていただいておりますということです。以上、一覧表のご紹介を終わります。

久保田会長

はい、ありがとうございました。ただいま事務局、それから並びに小委員会の委員長からの説明したとおりでございまして、ただいま小委員会から候補名称といたしまして、5 件上がっております。

どちらにいたしましても、本日確認はできませんので、できれば次回確認という方法をとりたいと思っておりますので、どうぞご意見がありましたらご意見を賜りたいと思います。

いかがでしょうかね、ただいま、5 つの名称が提案されております。小委員会からの報告でもございますけれども、この 5 つの中から選ぶということについては、ご異議ございませんかね。いかがですか。よろございますか。この 5 つの中から選定するということで、なかなか言い難い点もありますからですね。よろございますか、この 5 つの名称から選定するということで、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議ないようでございますから、この 5 つの名称の中から一応選定するということでですね、していきたいと思います。今日は、確認いたしませんので決定いたしませんから、なかなか両町とも言い難い点があるかと思っておりますからですね、次回ですね、できれば決定させて頂きたいというふうに思いますが、いかがでしょうか、何かご意見ございませんか。

はい、中村委員。

中村委員

5 つの名前が出ておりますが、これはこの次の委員会の時には、どういう形で決定されるわけで

すか。たとえば投票とか、どれが賛成とか、どんな形か教えていただいとけばやりやすいと思います。

久保田会長

一つですべてまとめればですね、全会一致でいいと思いますけれども、まとまらなかったら当然投票という形にしなければいけないのではというふうに思います。

できればすべて全員これで良いですよとなれば、最終的に意見が分かれたらですね、投票とか形をとらなければ決定できませんから、そういう形に成ろうかと思います。

中村委員

その時の状況によって決定されるわけですね。

久保田会長

そうですね、すべての方が一つにまとめれば、決定すぐします。まとまらなければ、投票という形でしなければ、決着がつかないのじゃないかというふうに思います。

何か、ご意見ございませんか。よろこびますか、次回まで、次回確認するということで、1 ヶ月間ばかりよく検討されて。

であの、皆さんにお諮りします。この新町の名称に関すること、につきまして、継続協議としますが、よろこびますか。

(「異議なし」の声あり)

新町の名称に関すること (その 3) につきましては、継続協議といたします。

その他でございしますが、何かございませんか。

次回の開催予定日をですね、2 月の 19 日の木曜日午後 2 時から佐々町文化会館で、予定をいたしております。2 月 19 日木曜日午後 2 時より佐々町の文化会館ですね。

その他の項目で、何かございせんでしょうか。

はい、岡本委員さん。

岡本委員

住民の方から、ちょっと聞かれたのですけれども、私もあまりそこまで気にかけておりませんでして、小佐々町では、給食婦とか、そういうふうな名称を使っておられるわけですか。今までの審議の中で。

久保田会長

あのですね、条例改正が済んでなかった分がありまして、そういう名称が残っている分がございます。当然変更しなければいけないと思っております。

岡本委員

小佐々町の役場の方へ、問い合わせたところ、そういうのは残つとると、それで女性の場合は婦人の「婦」とつきます、男性になった場合はおっとの「夫」になるんだとの回答があったと、それはおかしいんじゃないかという、今ごろそんなところ使ったところないですよ、ということを言いましたと。そういうのが残ったかなあと、私はそこまで記憶がなかったもんだから、お尋ねしたわけです。

久保田会長

現実に条例の中にそういう項目がございます。しかし、今の時代にそぐわないと、いうこともございますのでですね、そういうことで私も、佐々の方からそういう事があったと報告を受けておりますので、善処していきたいというふうに思っております。

岡本委員

ありがとうございました。

久保田会長

他に、ございませんでしょうか。

ご意見がないようでございますので、これで終了したいと思います。本日は、本当に、特に議員の定数問題等につきまして、私の不手際ということもございますか、わかりませんけれども、いろいろ皆様にご迷惑をかけましたが、ようやく決定をさせていただきました。本当に、ありがとうございました。

それから、また、新町の建設計画の素案につきましてもですね、成案を出す前にですね、協議会を開きまして、またいろいろご意見をたまわって修正をする分があればですね、修正をすると、それから住民説明会の中でご意見等が出ると思いますので、そういうご意見が出たらそういう点も参考にして、修正しなければならない分は、修正していくということで進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。本日は、ありがとうございました。